



# みどりの風



令和3年11月19日発行

## 「一秒の言葉」

校長 米山 武彦

先月末、文化祭を開催しました。生徒たちはよく頑張りました。それまでの懸命な取組を感じさせる素晴らしい文化祭になりました。時間をかければそれだけよい作品はできます。しかし、限られた時間の中でよい作品をつくるためには、一人一人が役割を果たし、チームワークを発揮し計画的に取り組むことが求められます。今回、限られた時間とコロナ禍の制限のある中で、それぞれの学年のよさを発揮できた文化祭になったと思います。文化祭の展示や舞台発表の様子は限定配信するYouTubeをご家族でご覧ください。

さて、右の詩は小泉吉宏さんの『一秒の言葉』という詩です。この詩は、30年以上も前にCMで放送されたものです。その「短い言葉」に心打たれた人たちの多くの反響がありました。たった一秒の短い言葉ですが、人を元気にしたり、笑顔にしたりできます。言葉の持つ力を感じます。一方で、たった一秒の言葉で人を傷つけたり、悲しませたりすることもあります。「キモい」「ウザい」「おもんない」などです。これらは、人と人との関係を断つ言葉です。二学期に入って実施した「学校生活に関するアンケート」から、友だちの言葉に嫌な思いをした生徒が多いことがわかりました。だからこそ、何気なく使っている言葉を大切にしなければいけません。私たちは、たった一言の言葉で、元気にもなれば、悲しくもなる。このことは今まで何度も経験し何度も気付かされていることです。自分の発する言葉で相手が温かくうれしくなる、人と人がつながる会話ができる重富中にしていきたいと思ひます。ご家庭でもご協力をお願いします。

### 「はじめまして」

この一秒ほどの短い言葉に、  
一生のときめきを感じることもある。

### 「ありがとう」

この一秒ほどの短い言葉に、  
人のやさしさを知ることがある。

### 「がんばって」

この一秒ほどの短い言葉で、  
勇気がよみがえってくることもある。

### 「おめでとう」

この一秒ほどの短い言葉で、  
幸せにあふれることがある。

### 「ごめんなさい」

この一秒ほどの短い言葉に、  
人の弱さを見ることがある。

### 「さようなら」

この一秒ほどの短い言葉が、  
一生の別れになるときがある。

一秒に喜び、一秒に泣く。 一生懸命、一秒。  
人は生きる。

## 避難訓練(火災)

11月11日、給食室から火災が発生したという想定で、避難訓練を実施しました。天気が悪く、校庭への避難ができなかったため、廊下への避難となりましたが、「おかしも」(おさない、かけない、しゃべらない、戻らない)の約束をしっかりと守り、行動できていました。

その後、「思わぬ火元」というタイトルのDVDを視聴し、消防署員の方から災害についての講話を聴き、災害時、避難に対する日頃の心構えについて学習しました。

